

# 令和7年度 第1回みき歴史資料館協議会議事録

## 1 開会日程

- (1) 開 会 令和7年10月30日(木) 午前10時  
(2) 閉 会 令和7年10月30日(木) 午前11時30分

2 場 所 みき歴史資料館 3階会議室

## 3 議 題

### (1) 報告事項

- ア 令和7年度上半期実施事業報告・利用者実績報告  
イ 令和7年度下半期実施事業計画

### (2) 協議事項

- ア 令和8年度事業計画予定について  
イ その他

## 4 出 席 者

- (1)委 員 木村 修二、安田 信吉、藤田 司、湯浅 洋司、松下 君子、真野 朱美  
(2)事務局 森田教育総務部長、大西文化・スポーツ課長、富田館長、金松係長

5 公開・非公開の別 公 開

6 傍聴人の数 0 人

\*\*\*\*\*

## 1 開 会

## 2 副会長の選出

副会長に藤田委員を選出

## 3 報告事項

### (1) 令和7年度上半期実施事業報告・利用者実績 (資料1・3)

(事務局から報告)

[委員]

猛暑による入館者数への影響はあったのか。

[事務局]

昨年度比になるが、7月は20%増、8月は変わらず、9月は30%減となつた。ただ、8月については、館内空調故障に伴い館外実施した講演会等の参加者数は入館者数に含んでいない。

[委員]

5月6日に実施した特別講演会「安芸毛利氏と郡山城」のようなイベントは毎年実施されているものなのかな。

[事務局]

毎年実施しているものではなく、令和8年放送予定のNHK大河ドラマもあることから、係長と交流があり、郡山城に詳しい秋本氏に講演をお願いしたところである。講演会には市内だけではなく、県外からも多く参加者があり、当館をPRする良い機会になったと思っている。

[委員]

個人的な交流だけではなく、安芸高田市との交流があつたりするのか。

[事務局]

こういった交流は初めてになる。

[委員]

安芸高田市に限らず、他市との交流事業を定例化していけば、安定的な入館者数の確保につながっていくのではないかと思う。

[委員]

利用者実績について、昨年度の資料も添付いただけすると、比較も容易になるのでお願いしたい。

[事務局]

資料は後ほどお渡ししたいと思う。

[委員]

9月の入館者数の減少については、企画展の違いや天候等様々な要因があるかと思うので、致し方ない部分かもしれない。

[委員]

御朱印なども流行っているのは知っているが、御城印のコンスタントな売上に少し驚いた。

[事務局]

御城印購入のため遠方より来られている方や、電話による問い合わせなどもある。

(2) 令和7年度下半期実施事業計画（資料2・4）

（事務局から報告）

[委員]

令和8年1月24日の歴史ウォークでは、三木地区以外のコースとなる「吉川町有安・鍛治屋の文化財コース」を予定されており、よかったですと思う。

#### 4 協議事項

(1) 令和8年度事業計画予定について（資料5）

（事務局から説明）

- ・ 来年度に予定されている空調設備改修工事に伴う休館により、企画展等の日程変更や中止になる可能性がある。

[委員]

企画展「地域の史料たち9（仮）」では、緑が丘など新興住宅地を取り上げることになっているが、どういった資料の展示していくことになるのか気になるところではある。

また、来年度に予定されている空調設備改修については、工期はまだ決まっていないのか。

[事務局]

今年度は2月末までの予定で実施設計を行っており、資料館としては来年度に改修工事を実施したいと考えている。ただ、規模の大きな工事となるため、年度当初からの工事は難しいと思われることから、暑さ対策として空調機器のレンタルを予算要求している。

[委員]

学校関係については、校園長会等を通して広報に尽力したいと思う。

[委員]

特に市内にある小中学校の児童・生徒が校外学習として定期的に資料館を見学できるようなシステムができればよいのではないかと思う。

[委員]

9月10日にふるさと三木の歴史学習に行かれた豊地小学校では、3年生の児童が旧玉置家住宅を見学したと新聞記事に載っていたが、距離的に近い資料館には足を運んでいないようなので、来館してもらえるようにしていただきたいと思う。

[委員]

同じ対象のものでも視点を変えた企画展になるよう努力していただきたい。

[委員]

来年のNHK大河ドラマに関連して、資料館では企画展「秀吉・秀長の播磨攻めと城郭（仮）」を考えおられるようだが、私自身も微力ながら手伝えることはないかと思い文章を作成中では是非添削していただければと思っている。

[事務局]

学校との連携については資料館からも発信していきたいと思う。また、中学校に関しては、これまでカリキュラム的に余裕がなかったが、部活動が学校から地域活動へ徐々に移行していく中で生徒たちにも放課後や休日に時間的余裕が生まれる可能性があるので、そういう部分を活用できればと思う。

新たな視点の必要性については、様々な制約の中でではあるが企画展や歴史ウォークの中で検討していきたいと思う。

また、大河ドラマ関連については、観光協会とも連携を取りながら事業を進めていきたいと思う。

(2) その他

特になし。